

データ駆動科学と機械学習

自然科学をはじめとする科学分野が機械学習の対象として注目を集めている。科学においてデータ駆動であることの重要性は言うまでもないが、その一方でデータを記述するモデルは、機械学習で用いられてきたものとは必ずしも同じでない。科学が取り組むモデルが機械学習に新たな問題を提供するとともに、機械学習の視点から捉えなおすことによる科学の刷新も期待される。

本セッションでは、データ駆動科学に関する概論から導入し、物質科学から生命科学にいたるまでの各論にも迫りたい。

企画担当：中西義典（東大），藤井慶輔（名大）

講演者

- 福島孝治（東大）
 - サンプルングによるデータ駆動科学
- 安藤康伸（産総研）
 - データ駆動科学の立場からみた物質科学と情報科学の接点
- 藤井慶輔（名大）
 - 集団運動におけるデータ駆動科学